

あさひが丘

No.
83

A S A H I G A O K A

患者さんに寄り添い、患者さんの立場で考える

ごあいさつ

副院長

木村 永一

Hisakazu Kimura



令和6年3月1日付けにて当院に着任、令和7年4月1日付けにて、副院長(精神科)を拝命いたしました、精神科医師の木村永一です。当院の木村裕一院長とは、札幌医科大学在学中は同期生で、組織実習や解剖実習、臨床実習等は、ほぼ同じ班に所属しておりました。木村裕一院長と再び同じ班(病院)で診療に従事していることを心強く感じております。

小生は、昭和63年に札幌医科大学を卒業後、同大学(薬理学講座)や数か所の精神科病院、大手生命保険会社(医務室産業医)、総合病院精神科、メンタルクリニック等で勤務してまいりました。専門は一般的な精神科領域全般と考えております。すなわち、薬物等の依存症や児童思春期、認知症性疾患、司法精神医学のように何らかの特定領域に軸足を置いた診療ではなく、精神科的疾患に幅広く対応してまいりました。しかしながら、精神科診療領域においても患者さんの高齢化が顕著であり、これまで勤務した精神科病院や総合病院精神科でも、年を追うごとに認知症

性疾患(あるいは高齢者の精神障害)の担当症例数が増えました。

小生が着任後の当院における精神科の診療実績を振り返りましても、認知症の周辺症状のみならず、内科的疾患等を背景(要因)として、精神症状が顕在化している高齢患者さんが増えております。ところが札幌市内においてさえも、精神科病棟を有し、かつ、内科的加療等が可能な病院は限られています。即ち、内科医師が充足し精神科病棟を有している当院の役割は、今後、更に大きくなることが推察されます。従いまして、木村裕一院長の下、これまで以上に慎重かつ積極的な精神科診療を心がけ、患者さんの為、又、当院発展の為に尽力していく所存です。

尚、小生は還暦を過ぎ、日々、知力や体力の衰えを感じております。しかしながら、当院精神科部長DR 藤本和輝をはじめとする若い職員達からの助力等をいただき、気力は維持されております。今後とも何卒、宜しく願いいたします。



外来診療担当医師

内 科	午前	月	火	水	木	金	土
		亀井 (循環器病外来)	木村(裕)	木村(裕) (消化器病外来)	多羅澤 (胃腸・嚥下障害外来)	川人 (糖尿病外来)	亀井 (第1週目)
		東出	河本	東出	齊藤	伊林 (漢方外来)	多羅澤 (第2週目)
		伊林 (漢方外来)	宮坂 (漢方外来)	河本	垣内	井戸川	木村(裕) (第3週目)
	午後	齊藤	川人 (アレルギー・ リウマチ外来)	亀井	河本	尾崎 (第1・3・4・5)	齊藤 (第4週目)
		伊林 (漢方外来)		伊林 (漢方外来)		越前 (第2)	河本 (第5週目)

精神科	月	火	水	木	金	土
	午前 藤本	片村	藤本	木村(永) (物忘れ外来)	木村(永)	休診
	午後 藤本	片村	藤本	木村(永)	木村(永)	

診察受付時間

平 日 午前 9:00～12:00
午後13:30～17:00
土曜日 9:00～12:00

休診日

日曜・祝日・年末年始

診療科目

●内科(消化器内科・老年内科・漢方内科)
●精神科 ●放射線診断科 ●リハビリテーション科

※**基本的には予約制**ですが、予約なしでの診察も可能です。
その際、お待ちいただく場合がありますのでご了承ください。

※**伊林と宮坂の漢方外来のみ、完全予約制**となっております。
事前に内科外来までお問い合わせください。

※**精神科外来初診の場合は予約が必要**です。
あらかじめ電話にて地域医療連携室までお問い合わせください。

※**外来担当医師は変更になる場合がありますので、
事前にお電話にてご確認ください。**

健康診断のご案内

近年、食生活の変化や運動不足に起因する生活習慣病が問題となっていますが、みなさんは健康診断を受けられていますか？仕事や子育て、家族の介護等が忙しく中々健診を受ける時間が取れないという方は多いのではないのでしょうか。病気の初期段階では自覚症状がほとんどないため、「体の調子が良くない」「最近疲れやすい」と思い病院に行くと症状がかなり進行している場合も少なくありません。健康診断は自身の健康を保つために今の健康状態を把握することができます。自覚症状が現れる前に生活習慣病等をチェックする良い機会ですので1年に1回は健康診断を受ける事をお勧めします。

当院では、平日、土曜日(午前のみ)に健康診断をおこなっております。

予約方法は、窓口、お電話での予約となります。

	コース	料金	
札幌市	とくとく健診	1,200	札幌市国保に加入している40歳以上の方。
	後期高齢者健診	500	札幌市後期高齢者医療に加入している方。
当 院	Aコース	4,950	身体測定、血圧、視力、聴力、尿検査、胸部レントゲン
	Bコース	8,800	A+心電図、血液検査(14項目)
	Cコース	9,900	A+心電図、血液検査(21項目)
	Dコース	11,000	A+心電図、血液検査(28項目)

※上記以外にも、人間ドック・生活習慣病健診等も行っておりますのでお問い合わせください。



社会福祉法人 さっぽろ慈啓会
慈 啓 会 病 院

〒064-0941 札幌市中央区旭ヶ丘5丁目6-50
TEL.011-561-8292 FAX.011-551-3862
<http://www.sapporojikeikai.or.jp/>



無料シャトルバス運行中

就任のご挨拶

副院長 おくむら みきこ 奥村 美貴子

暑さも本格的になりますね。皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

四季の変化を豊かに感じられる北海道。その魅力は少しずつ変化しているようです。10年ほど前に比べ夏の平均気温が2～3℃上昇という話も聞きますが、以前は冷房とのつきあい方に悩むことはなかったように思います。

私は、病院という施設の特徴から、冷房の効いた室内で汗をかかずに、つつい一日過ごしてまいります。だからこそ、自然に生かされている自分の身体のために、日々の軽い体操でじわりと汗をかいて、内部の循環、代謝を良くすることを意識するようになりました。

水分補給をして熱中症対策をしつつ、夏をしっかりと体験することが、通年の心身の健康を維持するポイントのように思います。皆様もどうぞ一年で一番アクティブな時間を楽しんでくださいませ。

本年度から慈啓会病院 副院長の任に就かせていただきました。

この責務から患者様のためにできることは、職員をアシストすることだと理解しています。看護職員からコメディカルまでを含めた全職員が、いつも笑顔で地域に貢献する仕事ができるよう、土台となってまいります。

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



看護部長 せきた まみ 関田 真実

北海道の桜の時期も過ぎ、一気に花たちが咲き、緑がまぶしい季節となってまいりました。皆さまにおかれましては、いかがお過ごしでしょうか。この度、本年4月より看護部長に就任いたしました関田真実と申します。当院で勤務をはじめ、20年が経ち時の速さを感じております。

当院は、「患者さんに寄り添い、患者さんの立場で考える」の理念の基、患者さまやご家族に「ここに入院してよかった」「安心して通える」と思っただけの病院をめざしております。その中で看護部は「患者さん一人ひとりを尊重し、専門職としての知識・技術・態度をもって、

心に寄り添い、やさしさと思いやりのある看護」を目指し、患者さまのケアを提供しております。

「こころに寄り添う」ためには、患者さまやご家族の身近な存在となれるよう信頼関係を築くことが大切です。そのうえで「その人らしい時間を過ごしていただく」とは何かを一緒に考えていくことができると考えます。そのために私達は、コミュニケーション力を高める取り組みを継続して行っています。

看護はひとりで行うものではなく、皆のチカラを合わせて行うものです。皆が心をひとつにして、看護力を向上させていけるよう精進してまいります。今後ともよろしくお願い致します。



地域連携課長 まつだ あさみ 松田 亜紗美

2025年4月1日付で地域医療連携室課長に着任いたしました松田亜紗美と申します。よろしくお願いいたします。

大学卒業後、当法人に入社してからは、特別養護老人ホーム、法人本部、地域包括支援センターと異動し、20年ほど勤務してまいりました。

そしてこの度初めて、「病院」という場でPSWとして勤務させていただくこととなりました。ずっと福祉の分野で働いてきたため「医療」の視点が不足しており、至らない点やご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、日々勉強し精進してまいります。よろしくお願いいたします。

地域医療連携室は、現在、看護師2名、MSW1名、PSW2名の計5名体制となりました。より地域の医療機関や介護施設等と連携を図り、法人が掲げている「ともいき」の精神を念頭におき、「保健・医療・福祉」を担う当法人の職員として、地域医療に貢献できるよう地域に根差した医療を目指し、励んでいきたいと考えております。何卒よろしくお願い致します。

職員紹介

薬剤部 はしもと うきちろう 橋本 宇吉郎

2025年4月から勤務しております、橋本宇吉郎と申します。

大学を卒業後は大学院で生化学の基礎研究をしており、タンパク質の翻訳後に修飾される糖鎖が、その標的タンパク質にどのような影響を与えているのかをテーマに研究しておりました。

卒業後は研究から心機一転、臨床業務を経験したいと思い、学生実習でもお世話になった当院で働くことを決めました。

これまでは長い時間をかけて一人で実験することとは対照的に、チームの一員として業務に関わっていくことになるため、不慣れではありますがどうぞよろしくお願いいたします。



検査部 こんの まなみ 今野 愛未

はじめまして。4月から検査部で勤務しております今野愛未と申します。

3月までは、日本医療大学保健医療学部臨床検査学科の一期生として、コロナ過で対面での講義や実習ができないこと、前例がないため特に国家試験への対策は仲間や先生方と試行錯誤しながら、学生時代を過ごしました。

現在は、主に生理機能検査・心電図を担当しています。私は、患者さんが自身の健康や検査自体に感じる不安を取り除けるような検査を実施したいと考えております。そのため、患者さんとの対話だけでなく、スタッフの皆さまとの連携を大切にしながら、日々精進してまいりたいと思います。よろしくお願いいたします。

リハビリテーション部 いわもと はるな 岩本 春菜

はじめまして。日本医療大学を卒業し、この春から入職いたしました作業療法士の岩本春菜です。趣味はライブに行くことと、プリンのある喫茶店を巡ることです。生まれ育った地域に貢献したいという思いから、身近な場所であるこの病院を志望しました。患者様の笑顔を引き出し、その人らしい生活を支えられるような支援を行い、「岩本さんが担当でよかった」と思っただけの作業療法士を目指していきます。思いやりと感謝の気持ちを大切に、一歩ずつ成長していきたいです。どうぞよろしくお願いいたします。



地域医療連携室 さがみ さき 相模 紗季

はじめまして。1月より地域医療連携室に精神保健福祉士として配属となりました、相模紗季と申します。これまで、障害を持っている方々の入居施設で経験を積んでまいりました。医療現場で働くのは初めてで、毎日が新しい学びの連続ですが、患者様やご家族の不安に寄り添える支援ができるよう、一日一日を大切に過ごしてまいります。まだまだ至らぬ点も多く、皆さまにご迷惑をおかけする場面もあるかと思いますが、多職種の皆さまと連携しながら、よりよい支援につなげられるよう努力いたします。どうぞご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

看護師 すずき よしゆき 鈴木 善之

今年度入職いたしました、鈴木善之と申します。4月より地域包括ケア病棟にてお世話になっております。当病棟は、急性期病院からの転院や、施設等から急な病変などの対応窓口として、重要な位置づけにあります。入退院も多いのですが、高齢者との関わりにおいて、日々新たな学びや発見を得るなど利点もあります。不慣れなことがまだ多く、スタッフの皆さまにご迷惑をかけていると、焦りを感じる時もありますが、早く環境に慣れていきたいです。4月に第二子が生まれ、家庭環境も変化しました。これから、公私ともに充実した日々を送ることができればと思っています。

